

大田区版
「地域共生社会の実現」に向けた
重層的支援体制整備事業
の構築について

令和4年度第1回社会福祉法人指導連絡会
令和4年8月18日

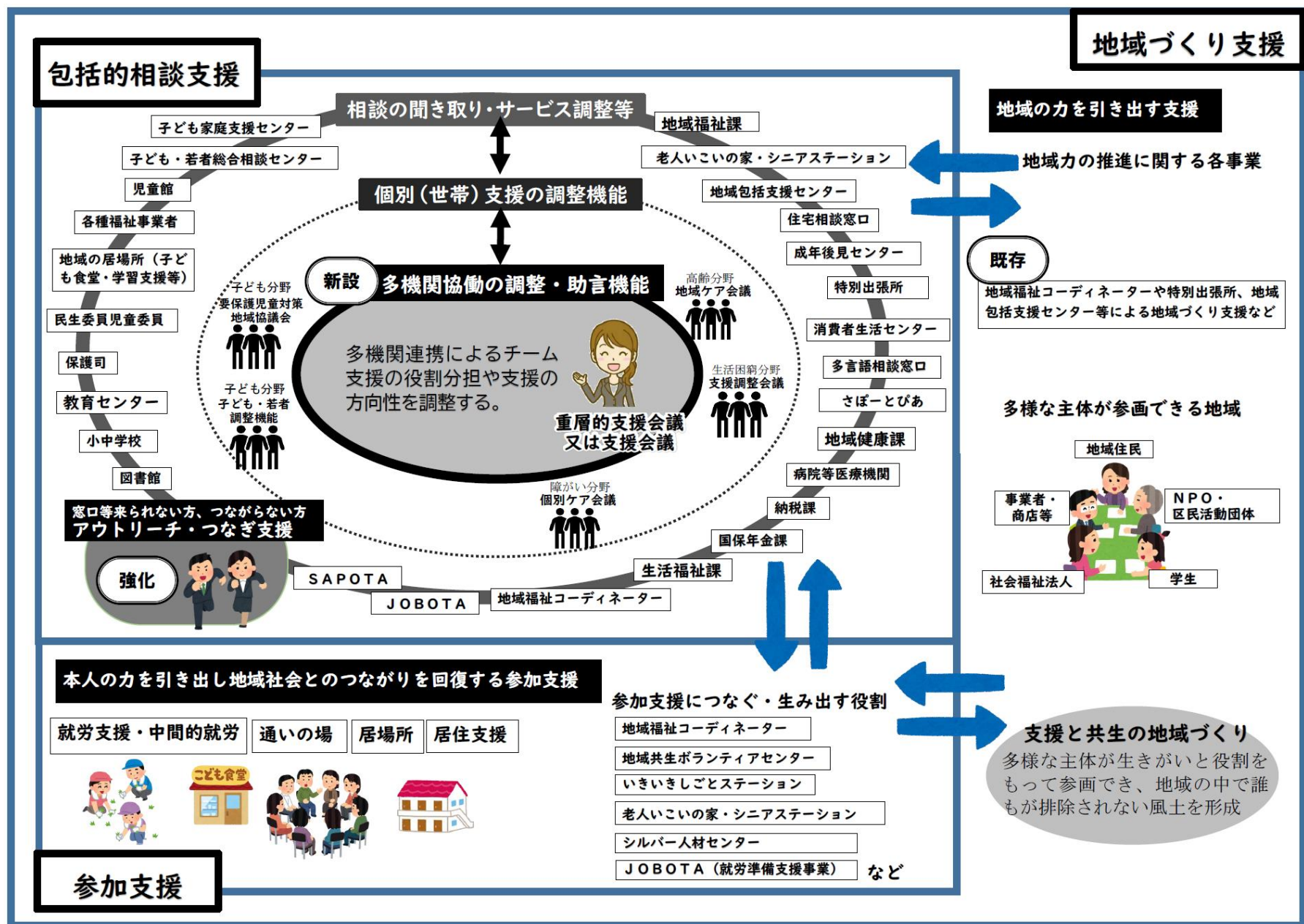
重層的支援体制整備事業の構築の背景

- 福祉ニーズの多様化と複雑化によって、単一の専門分野の制度利用や支援だけでは、十分に生活課題に対応できないケースが増えている。
- 「つながり」が弱体化していく中で、制度の狭間で孤立してしまい「生きづらさ」を感じている人が増えている。
- 複雑化・複合化した課題を抱えた世帯は、地域社会からの孤立によって、状況が悪化し、生活が成り立たなくなる傾向があり、結果的に社会的コストが高くなっている。
- こうした中、国は次の時代の大きな目標に「地域共生社会の構築」を掲げ、その具体的な事業として新たに「重層的支援体制整備事業」を創設した。
- 大田区でも、重層的支援体制整備事業を活用し、大田区版「地域共生社会の実現」に向けて整備することとした。

大田区の進め方

- これまで区が推進してきた地域力を活かし、高齢・障がい・子ども・生活困窮等の課題への取組みを「重層的支援体制整備事業」と紐づけ、制度横断的な包括的支援の体制に再整理する。
- 多機関連携によるチーム支援を形成するため、“職員の意識改革”や“支援機関との連携体制”、“地域との協力体制”を構築しながら、一步一步着実に進めていく。
- 令和4年度は移行準備事業から開始し、多機関連携の調整・助言を行う「重層的支援会議」については、大森地域をモデル地区に実施する。実施結果を検証し、令和5年度の本格実施をめざす。

大田区における重層的支援体制整備事業の構築イメージ



ひきこもり支援室

サポタ
SAPOTA

ひきこもりの悩みをかかえる

ご本人やご家族のための相談室です

令和4年
5月9日
開設

相談相手がいない
何から話していいか
わからない

人との関わりが苦手で
出かけられない



何とかしなければと
焦っている



相談は無料です

まずは電話かメールでご相談ください。

面談でのご相談は予約制です（JR大森駅東口から徒歩3分）。
ご自宅に訪問してお話を伺うことも可能です。

TEL:03-6459-6715

E-MAIL: contact@sapota.or.jp FAX: 03-6459-6714
<https://www.sapota.or.jp>

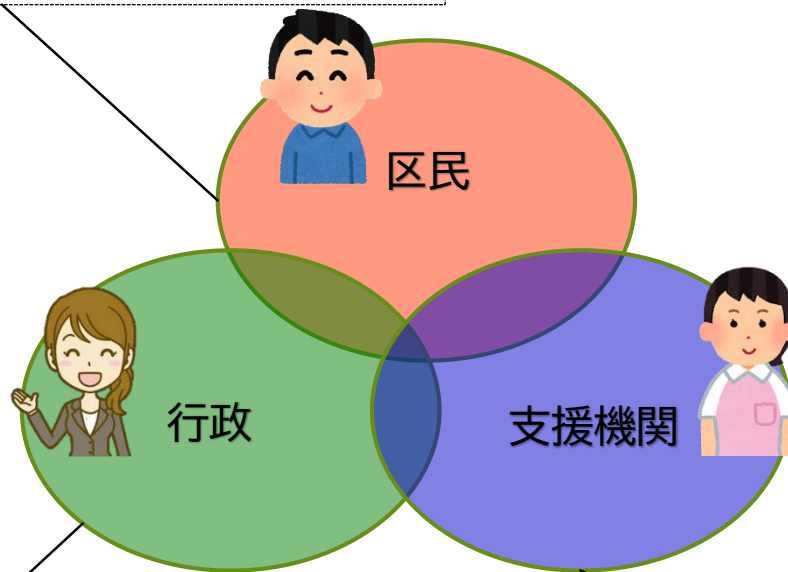


ホームページは
こちらから ↓



取組むメリット

- ・複雑な生活課題を抱える人が、身近な相談から適切な支援につながるができる。
(課題の重度化の防止)
- ・自覚している生活課題以外の根本的な課題への支援が得られる。



- ・早期のアウトリーチによって、将来の支援コストが縮減できる。
- ・地域資源の活用によって、多様で効果的な支援が期待できる。
- ・既存の制度の垣根を超えた財政面の運用が可能となる。

- ・財源や規制などによって取組が分断されることがなく、分野をまたぐコスト減が期待できる。
- ・すべてを抱え込む必要がなく、支援の負担を軽減できる。

区がめざすもの

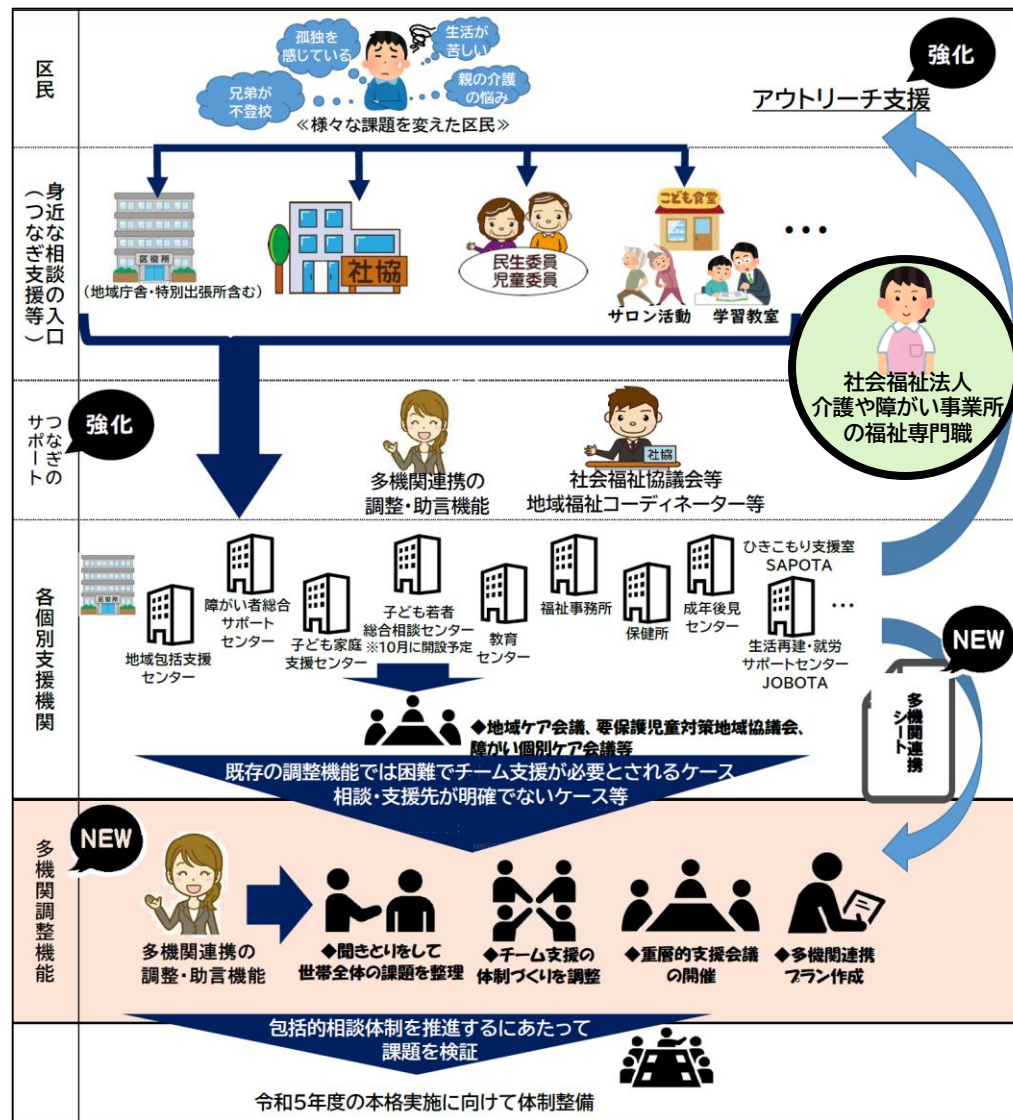
- 区と大田区社会福祉協議会が中心となって、**重層的支援(3つの支援)の体制構築**を進めていく。
- 制度や組織に関する「支援のしづらさ」を改善し、短期的ではなく、**継続性を持った伴走型の支援**によって、「生きづらさ」を抱える人の生活を支援する。
- 新しい支援制度ではなく、各支援機関の対応力と地域の支援力を引き上げ、「人と人とがつながる」地域づくりを進めることで、**大田区版「地域共生者社会の実現」**をめざしていく。

社会福祉法人に期待すること

「地域共生社会の実現」に向けて、社会福祉法人においては、これまで培ってきた福祉サービスに関する専門性やノウハウ、地域の関係者とのネットワーク等を活かしながら、社会福祉事業の実施や「地域における公益的な取組」の実践等を通じて、地域において主体的な役割を果たしていくことが期待されている。

令和3年3月31日付けの『重層的支援体制整備事業における社会福祉法人による「地域における公益的な取組」等の推進について（通知）』参照

社会福祉法人に期待すること



地域共生社会の実現をめざすにあたり、重要なのが、いかに課題の重度化を防止できるか

困っている区民をいかに気づき・把握し、必要な支援に早期につなげるかの相談の入口のしくみづくりが重要

各法人の福祉の専門性を活かして、地域住民等と一緒に“出来ること”を考えていくことが求められる。

参加支援・地域づくり支援においても、担い手の一員として、各法人の「地域における公益的な活動」を充実させ、地域とのつながりを一層深めていただきたい。

重層的支援体制整備事業における人材育成について ～福祉人材育成・交流センターの機能設置～

◆設置目的

複合的な課題のある世帯や個人への多機関連携支援の実施や慢性的な福祉人材不足に対応するため、福祉人材の質の向上と量の確保を図り、区地域福祉計画に基づく大田区版「地域共生社会の実現」に寄与していくこと。

1 eラーニングによる研修環境の整備

いつでも短時間で研修が受講できるeラーニング研修システムを導入する。福祉の基礎から専門性の高い内容まで幅広い研修コンテンツを整備していく。

外部接続タブレットやSCVXなどのインターネット環境より視聴が可能。



2 配信予定研修コンテンツ

基礎研修	大田区版地域共生社会の概要、福祉の基礎、権利擁護など
専門研修	高齢者支援、障がい者支援等の専門分野の研修など
発展研修	大田区版地域共生社会実現の進め方、多機関連携のポイントなど

3 研修動画の公開とアカウント登録

現在、各研修動画の作成作業を行っており、研修動画公開に向けてアカウント登録方法など運用ルールに関する要領を作成している。

今秋の開設に向けて、アカウント登録に関する周知を行う予定。

※アカウントの登録は所属を通じて、個人単位で行う予定。

他にも企画を順次
お知らせしていきます。